

報告事項No. 3

「川崎市総合計画」第2期実施計画・令和2年度事務事業評価結果について

- (1) 「川崎市総合計画」の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

- (2) 「川崎市総合計画」第2期実施計画・令和2年度事務事業評価結果について
(全体概要)・・・・・・・・P 4

- (3) 「川崎市総合計画」第2期実施計画・令和2年度事務事業評価結果について
(教育委員会事務局)・・・・・・・・P 6

- (4) 令和2年度の事務事業評価結果一覧（教育委員会事務局）・・・・・・・・P 7

- (5) 令和2年度事務事業評価シート・・・・・・・・・・・・・・・・【別冊】

「川崎市総合計画」の取組

1 総合計画の趣旨

川崎市総合計画（平成 28（2016）年 3 月策定）は、子どもたちの笑顔があふれ、高齢者や障害者等、誰もが社会に貢献しながら生きがいを持つことができ、産業都市として力強く発展し続ける、そのような成長と成熟が調和し、誰もが幸せを感じられる川崎をめざし、「安心のふるさとづくり(成熟)」と「力強い産業都市づくり(成長)」の調和により、市政をバランスよく進めるために、策定したものです。

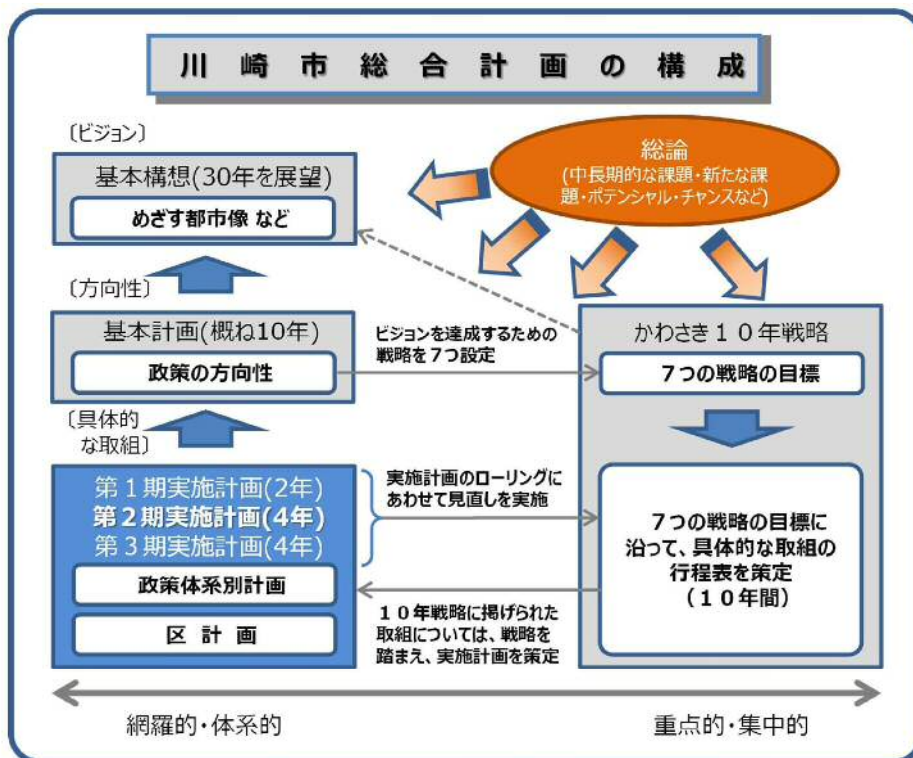
この計画の趣旨に基づき、『成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき』の実現をめざします。

※「最幸」とは…川崎を幸せのあふれる「最も幸福なまち」にしていきたいという思いを込めて使用しています。

2 計画の構成

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の 3 層構造としており、実施計画のローリングにより、社会経済状況の変化等に柔軟に対応していきます。

また、基本構想に掲げるめざす都市像等を実現するために、中長期的な課題等を踏まえて、「成長」と「成熟」のまちづくりに向けて、効果的な取組の考え方を明らかにする「かわさき 10 年戦略」を設定し、戦略的にまちづくりを進めています。

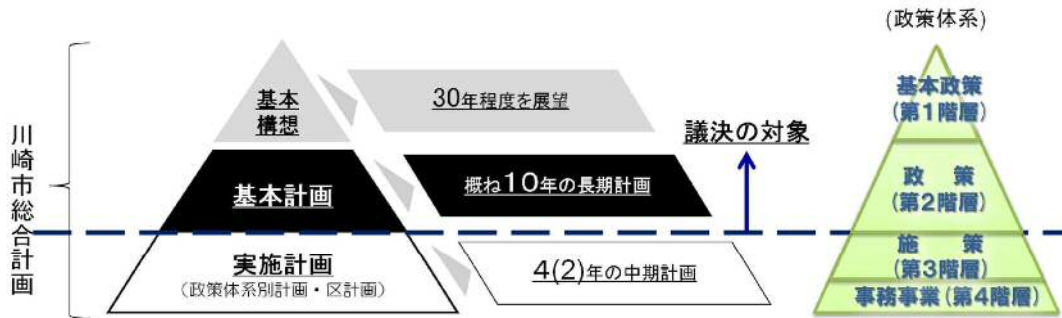


3 計画期間

「基本構想」は、今後30年程度を展望し、本市がめざす都市像や、まちづくりの基本目標、5つの基本政策を定めるものです。

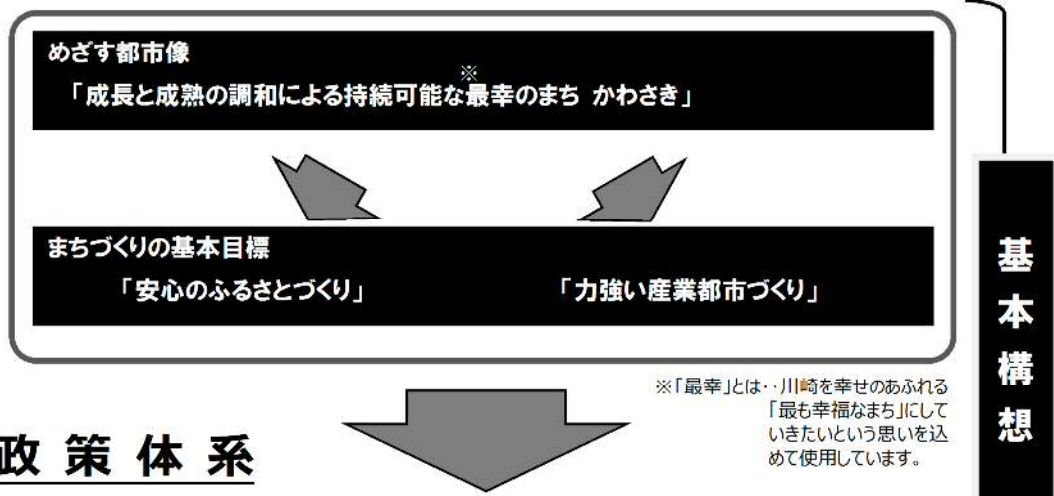
「基本計画」は、今後概ね10年を対象として、「基本構想」に定める5つの基本政策を体系的に推進するために、23の政策及び、その方向性を明らかにするものです。

「実施計画」は、これらのビジョン・方向性に基づき、中期の具体的な取組を定めるもので、第2期実施計画の計画期間は平成30（2018）年度から平成33（2021）年度までの4か年となります。

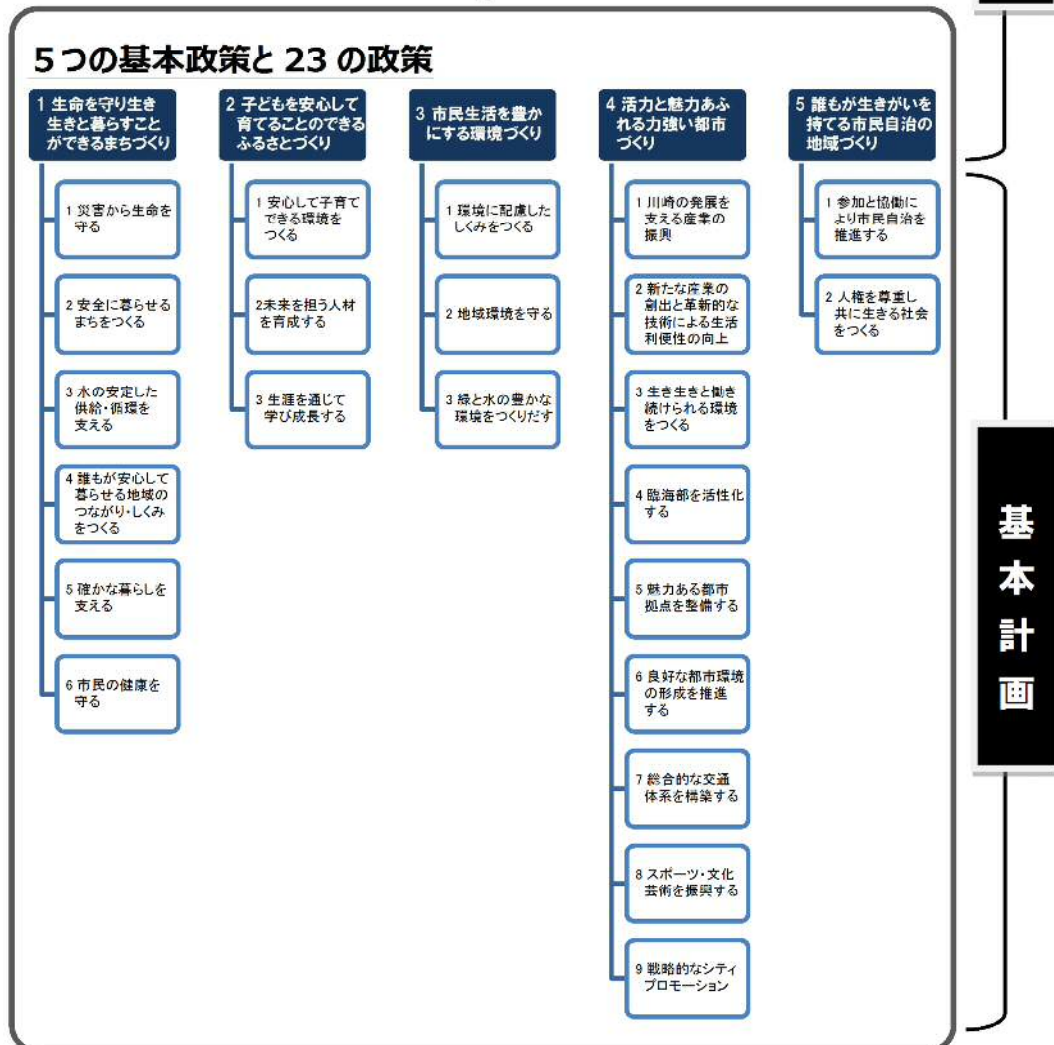


「基本構想」「基本計画」「実施計画」の計画期間								
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)		H33 (2021)	H34 (2022)		H37 (2025)
基本構想	川崎市 基本構想 30年程度を展望							
基本計画	川崎市 基本計画 平成28(2016)年度から概ね10年							
実施計画	第1期 実施計画 H28(2016)～H29(2017)		第2期 実施計画 H30(2018)～H33(2021)			第3期 実施計画(想定) H34(2022)～H37(2025)		

4 基本構想で掲げる「めざす都市像」及び「まちづくりの基本目標」等



政策体系



※23の政策の下に、「実施計画」に位置づけられた73の「施策」と約610の「事務事業」が連なります。

「川崎市総合計画」第2期実施計画・令和2年度事務事業 評価結果について（全体概要）

1 趣旨

「川崎市総合計画」第2期実施計画（以下「第2期実施計画」という。）における令和2年度事務事業評価結果を取りまとめました。

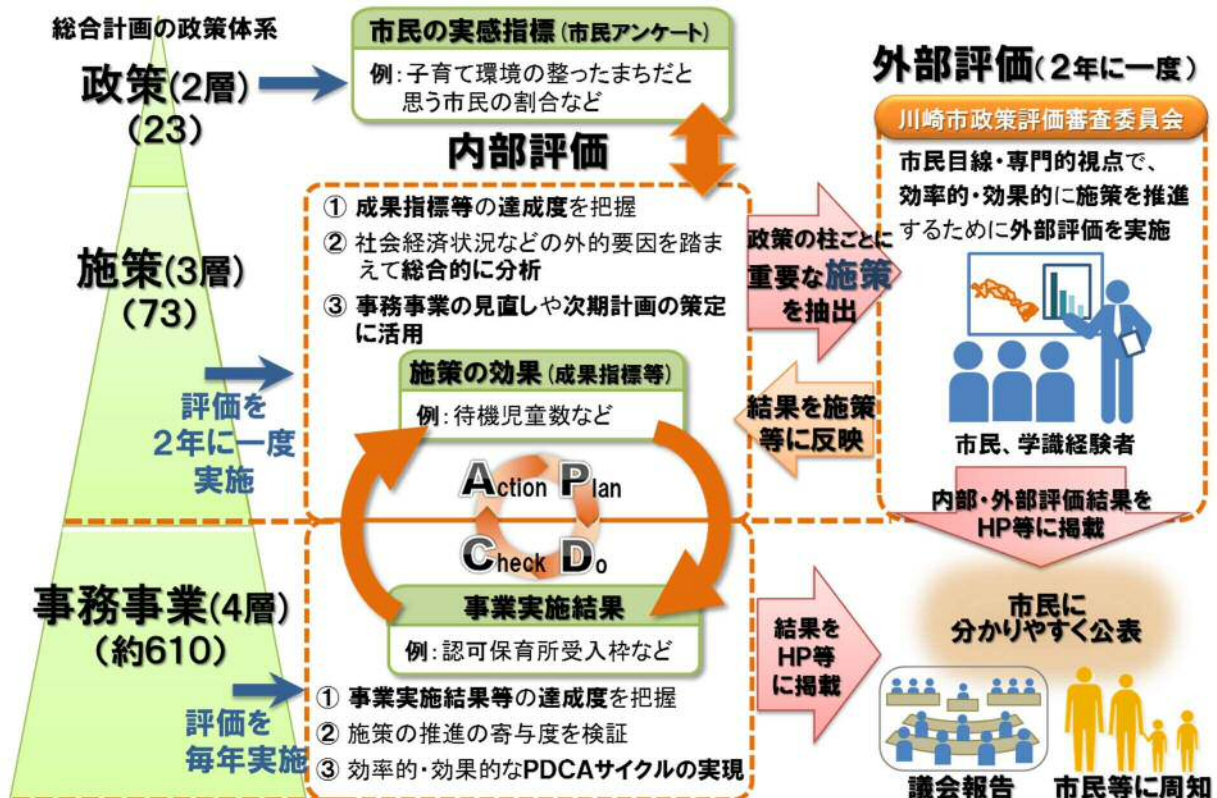
2 川崎市総合計画における進行管理・評価

総合計画では、どのように市の取組を推進すれば、よりよい成果が得られるかなどについて、市民の実感も踏まえて、内部・外部の視点により検証しながら、進行管理を実施しています。

（1）施策・事務事業の評価

- **施策の評価**については、施策ごとに設定した成果指標等を活用し、市の取組とその効果との関係を中期的な視点で検証しながら、効果的な事業の見直しや次期計画の策定につなげるため、**2年に一度実施**します。
- **事務事業の評価**については、着実な進行管理を行うために、**毎年実施**します。

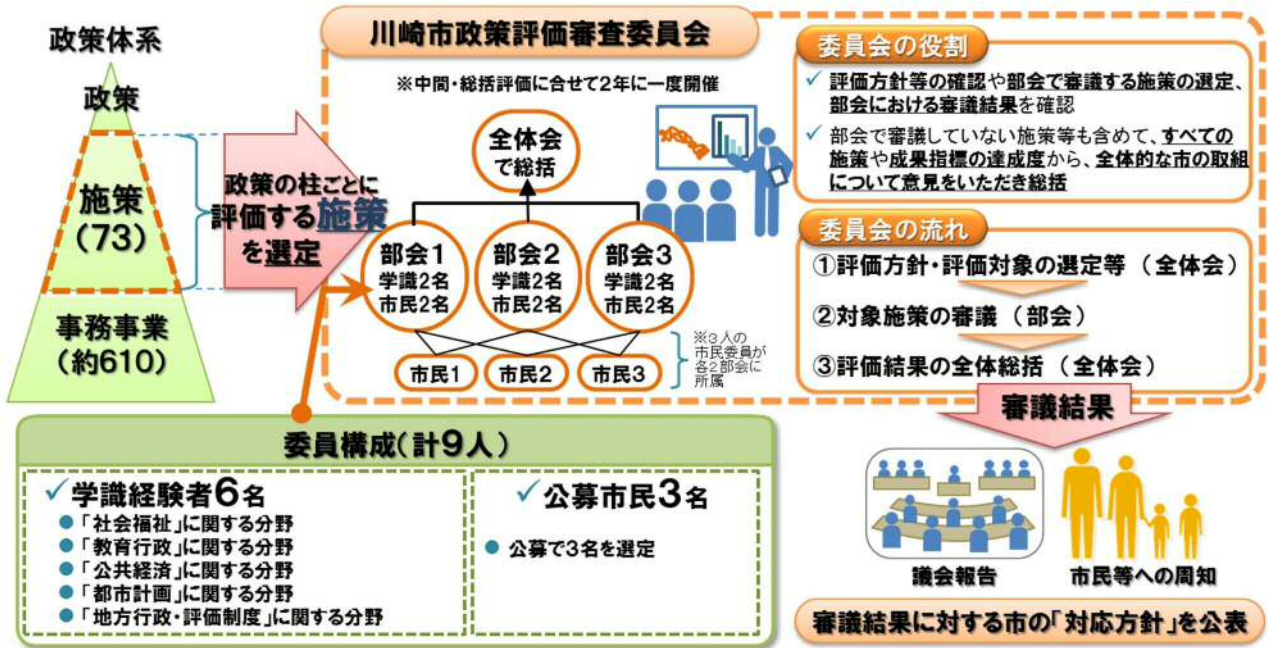
＜図1 総合計画における進行管理の全体概要＞



(2) 川崎市政策評価審査委員会による外部評価

- 総合計画における重要な政策等の評価に関して調査審議するため、学識経験者6名と公募市民3名で構成する「川崎市政策評価審査委員会」を設置しており、**施策の評価**の実施に合わせて、**2年に一度**、学識経験者の専門的視点や市民目線による外部評価を実施します。

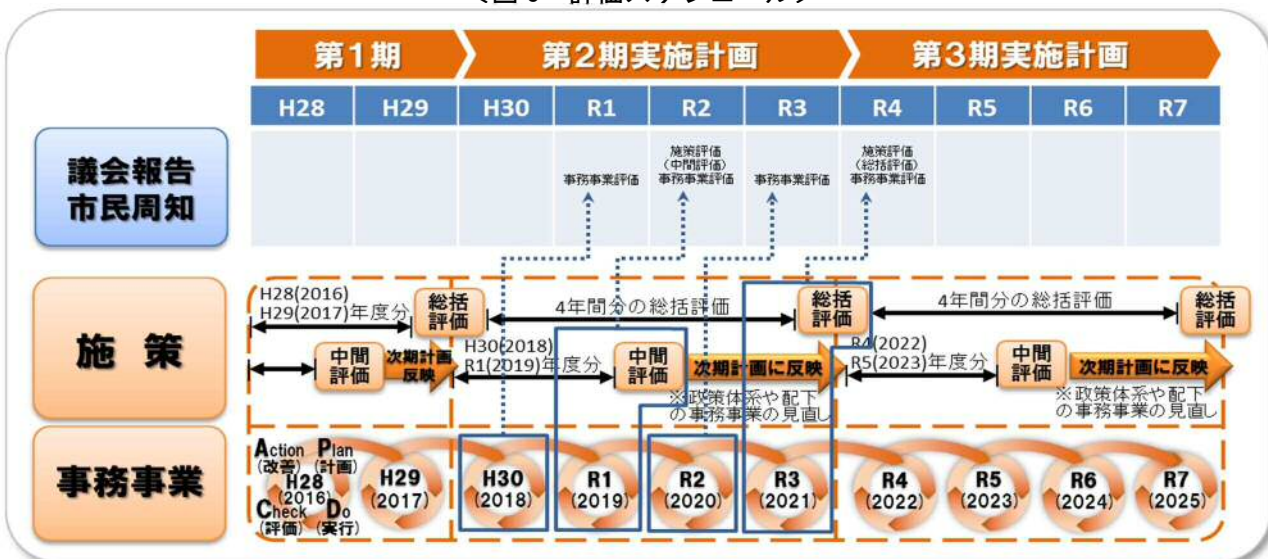
<図2 川崎市政策評価審査委員会の概要>



3 令和2年度の取組評価

第2期実施計画の**計画期間3年目**に当たる**令和2年度**の取組については、**事務事業**に対する**内部評価**を実施しました。

<図3 評価スケジュール>



4 公表スケジュール

令和3年8月26日（木） 市議会報告、報道機関への情報提供、市ホームページへの掲載

「川崎市総合計画」第2期実施計画・ 令和2年度事務事業評価結果について（教育委員会事務局）

1 趣旨

「川崎市総合計画」第2期実施計画における、教育委員会事務局の令和2年度の事務事業評価結果を取りまとめました。

2 「川崎市総合計画」第2期実施計画・令和2年度事務事業評価結果（概要）

「川崎市総合計画」第2期実施計画に基づく施策に位置付けられた事務事業のうち、教育委員会事務局が所管する事務事業は46事業あり、そのうち目標を上回ったものは4事業、目標をほぼ達成したものは26事業、目標を下回ったものは16事業ありました。（表1）

表1 施策に位置付けられた事務事業の達成状況区分別 事業数と構成比（教育委員会事務局）

達成状況区分		内容	事業数	構成比(%)
1	目標を大きく上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ・目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく上回った。 	0	0.0%
2	目標を上回って達成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ・目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ・目標に明記した数値を上回った。 	4	8.7%
3	目標をほぼ達成	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ・途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ・目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ・おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。 	26	56.5%
4	目標を下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ・目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を下回った。 ・所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。 	16	34.8%
5	目標を大きく下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく下回った。 	0	0.0%
合計			46	100.0%

令和2年度の事務事業の評価結果一覧(教育委員会事務局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	20201010	キャリア在り方生き方教育推進事業	その他	将来の社会的自立に必要な能力や態度を育む教育を全校でより効果的に実践するため、手引きの配布や研修により、「キャリア在り方生き方教育」についての理解を深めるとともに、指導体制の構築や、家庭との連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●各校におけるキャリア在り方生き方教育の実施(各種研修会・計76回) ●多様性を尊重する教育の計画的・系統的な推進に向けた学校支援 ●「キャリア・パスポート」を作成・配布 ●「教育だよりかわさき」に実践例を掲載、保護者用リーフレットの作成・配布による理解促進 	15,255	15,378	3	P2
2	20201020	学力調査・授業改善研究事業	その他	学力の状況を的確に把握するために、調査・研究を行い、その結果を活用して、子どもたちが「分かる」を実感できる授業づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市学習状況調査・市学習診断テストの実施 ●「生活や学習に関するアンケート」調査の実施及び調査結果の活用 ●令和2年度全国学力・学習状況調査中止 ●学習指導要領の改訂内容に対応した実践事例集の作成・配布 	48,255	43,931	4	P4
3	20201030	きめ細やかな指導推進事業	その他	習熟の程度に応じた、きめ細やかな指導の充実のために、より有効な指導形態や指導方法について研究実践を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●小中9年間を見通した算数・数学の習熟の程度に応じた指導の実施 ●「きめ細やかな指導 実践編」の冊子の活用や教師向け指導力向上の映像教材の作成・配布 ●学校の実情に応じた少人数指導・少人数学級等の実施と各学校の取組の共有(学校担当者会:2回) 	118,817	112,343	3	P6
4	20201040	英語教育推進事業	その他	外国人と直接コミュニケーションを図る機会を増やし、異文化を受容する態度を育成するため、研修の充実により教員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手(ALT)を活用する等、英語教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●英語教育推進リーダー(24名)による研修会講師等への活用推進 ●ALTの配置・活用による英語教育の推進(小・中学校107名、高等学校6名) ●小学校における中核英語教員(CET)を中心とした指導体制の整備 ●CETへの研修(4回)、ERTへの研修(5回)の実施 ●大学と連携した各種講座や外部試験受験の促進(英語二種免許取得講習受講者数29名、外国語教授基礎論講座受講者数38名) ●小学校英語強化教員(ERT)の学級担任との連携による英語授業力向上(ERT配置校:60校) 	521,607	518,037	3	P8
5	20201050	理科教育推進事業	その他	教員の授業力向上や観察・実験の機会の充実を図り、子どもたちが興味・関心を持って主体的に学習に取り組める魅力ある理科教育を推進します。また、企業や研究機関、大学と連携して、技術者、研究者による派遣授業などの実施を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ●理科支援員の全小学校配置による理科教育の推進 ●横浜国立大学と連携した中核的理科教員(GST)養成プログラムの中止及び令和3年度以降の実施体制の構築 ●先端科学技術者の派遣授業の実施(実施回数21回) 	17,228	17,104	4	P10
6	20201060	小中連携教育推進事業	その他	新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校などにつながるいわゆる「中1ギャップ」が見られることから、小中9年間の系統的な教育の実施と、小学校から中学校への接続のいっそうの円滑化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●小中9年間で円滑に接続する小中連携教育の実施(全51中学校区) ●小中連携教育カリキュラム開発研究校の研究授業や研究報告書の作成・配布等による研究の総括(2中学校区) ●小中連携教育の実践報告及び研究成果報告会の実施のよる有効な実践の共有 	4,211	3,978	3	P12

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
7	20201070	読書のまち・かわさき 推進事業	その他	子どもから大人までが読書に親しめるよう、さまざまな読書活動を推進するため、学校司書の配置による読書環境の整備など、「読書のまち・かわさき 子ども読書活動推進計画」に基づく取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「読書のまち・かわさき 子ども読書活動推進計画」に基づく取組の実施 ●総括学校司書(21校)及び学校司書(42校)の配置 ●図書ボランティアによる学校図書館の環境整備 ●川崎フロンターレ等との連携による読み聞かせイベント等読書活動の推進(4回) 	45,400	44,780	3	P14
8	20201080	子どもの音楽活動推進事業	イベント等	音楽のすばらしさを味わい、体験することを通して、子どもたちの豊かな感性を育み、生涯を通じて音楽を愛好する心情を育てられるよう、本格的なオーケストラ鑑賞や、市内の貴重な音楽資源を活用した音楽の体験活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミューザ川崎シンフォニーホール及びテアトロ・ジューリオ・ショウワ(昭和音楽大学)における東京交響楽団による「<u>子どものためのオーケストラ鑑賞</u>」の縮小(収容人数の半減により参加者数:5,229人) ●市内音楽大学と連携した「<u>ジュニア音楽リレー</u>」の育成における縮小(計画20校程度に<u>対し実績7校</u>) 	28,459	25,179	4	P16
9	20201090	人権尊重教育推進事業	その他	子どもたちの人権感覚や、人権意識の向上を図ります。また、「川崎市子どもの権利に関する条例」の周知と正しい理解の促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●人権尊重教育推進会議の書面開催(2回実施) ●教職員を対象とした研修の実施(研修参加者数:延べ2,878人) ●人権教育補助教材や子どもの権利学習資料、「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」リーフレット等の活用 ●子どもの権利学習派遣事業の実施(派遣学級数:66学級) 	6,867	5,219	3	P18
10	20201100	多文化共生教育推進事業	その他	子どもたちの異文化理解と相互尊重をめざした学習を推進します。また、多文化共生と多様性を尊重した意識と態度の育成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●民族文化の紹介や指導等を行う外国人市民等を「民族文化講師」として派遣(66校、延べ193人) ●外国人教育推進連絡会議の開催を通じた情報交換(第1回は中止、第2回は書面開催) ●「学校の中でできる多文化ふれあい交流会」は中止 	915	1,182	3	P20
11	20201110	子どもの体力向上推進事業	その他	児童生徒の健全な心身の育成をめざし、地域スポーツ人材を活用しながら学校体育活動の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校総合体育大会の実施(<u>小学校の地区別運動会、陸上記録会は中止</u>) ●休み時間等を活用した外遊びや長縄跳びなどに取り組む「キラキラタイム」の推進 ●顧問教諭と連携・協力して技術的指導を行う部活動指導者の派遣(39校) ●全国大会出場者への旅費等の補助 ●中学校におけるオリンピック・パラリンピアンとの交流事業(講演会やバラスポーツの体験など)の実施(12校) 	71,623	44,887	4	P22
12	20201120	健康教育推進事業	その他	すこやかな学校生活を送るため、健康診断や健康管理の実施、学校医等の配置を行います。また、望ましい生活習慣の確立、心の健康保持、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等、健康教育の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●喫煙・飲酒・薬物乱用防止等の健康教育の推進(<u>薬物乱用防止教室の一部中止により計画57校に対して実績39校</u>) ●<u>アレルギー疾患への適切な対応のための研修の中止</u> ●学校保健安全法に基づく各種健康診断の実施 ●スクールヘルスリーダー派遣による若手の養護教諭等への支援(5名を6校へ派遣) 	618,789	714,374	4	P24
13	20201140	健康給食推進事業	その他	児童生徒の健全な身体の発達に資するために、安全で安心な学校給食の提供を効率的に行うとともに、小中9年間にわたる一貫した食育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「かわさきそだち」の野菜を使用するなど、川崎らしい特色ある「健康給食」の推進 ●学校間の連携強化等による小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進 ●中学校給食の円滑な実施 ●小学校及び特別支援学校の老朽機器更新による給食の実施(機器更新:28校、新規委託:2校) ●学校給食会の運営支援 ●給食費の公会計化に向けた給食費徴収システムの構築、公会計化後の業務の手法の整備 	5,286,286	5,096,963	3	P26

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
14	20201150	教育の情報化推進事業	その他	「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」に基づき、ICT機器整備や研修の充実を図り、児童生徒の情報活用能力の育成、教員の指導力の向上、学校業務の効率化に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」における3つの方針に対する27項目の各事務事業の推進 ●情報化推進モデル校4校における研究及び公開授業・研究報告の実施 ●GIGAスクール構想における1人1台端末の活用も想定した、教職員の授業力向上のための各校担当対象の研修(16回)、その他の研修等(74回)の実施 ●業務の効率化に資する新校務支援システムの活用推進及びシステム安定稼働に向けた管理体制の再構築 ●情報システムのネットワーク環境の在り方の検討結果に基づく取組の推進及びGIGAスクール構想による新たなネットワークの構築 (※R2補正予算:1人1台端末と高速大容量ネットワークの整備) 	1,853,558	6,692,707	2	P28
15	20201160	魅力ある高校教育の推進事業	その他	「市立高等学校改革推進計画」に基づき、生徒・保護者・市民のニーズに応じた、魅力ある高校づくりを進めるとともに、川崎高校及び附属中学校における中高一貫教育や定時制課程の生徒の自立支援の推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館開放の実施(209日)及び高等学校における開放講座の中止及び聴講生制度の講座の縮小(計画4回に対して実績2回) ●定時制生徒の将来の自立に向け、3校で相談・支援を実施 ●川崎高校、高津高校、橘高校における、定時制生徒の将来の自立に向けた、学習や就職等の相談・支援の実施 ●川崎高等学校及び附属中学校における中高一貫した体系的・継続的な教育の推進 	17,250	9,922	4	P30
16	20201180	道徳教育推進事業	その他	「特別の教科 道徳」が実施されることを踏まえ、児童生徒が、生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を養うことができるよう、道徳教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●各学校道徳教育担当者への学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳科、道徳教育の研修実施(動画配信1回) ●教員経験5年目以下の教員(受講者約280名)を対象とした研修(道徳科の授業実践報告と道徳教育の計画レポート提出)の実施 	495	201	3	P32
17	20201190	学校教育活動支援事業	その他	豊かな自然環境での宿泊体験を通じて心身ともにたくましい児童の育成を図るため八ヶ岳少年自然の家を利用して2泊3日の宿泊体験学習を行います。また、教育活動サポーターを各学校の要請に基づいて配置します。	<ul style="list-style-type: none"> ●教育活動サポーターを小学校91校に計4,338回、中学校30校に計1,500回配置 ●自然教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小学校及び特別支援学校(小学部)の全校と中学校50校について中止 	310,585	238,281	4	P34
18	20202020	特別支援教育推進事業	その他	「第2期特別支援教育推進計画」に基づき、共生社会の形成をめざした支援教育の推進や、教育的ニーズに応じた多様な学びの場の整備、小・中・高等学校における支援体制の構築、教職員の専門性の向上等を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校のセンター的機能による訪問支援(107校)と通級指導教室のセンター的機能による訪問支援(1,015回) ●小・中学校通級指導教室の運営及び国等の動向を見据えながらの運営改善の検討 ●個別の指導計画の作成及びサポートノートを活用した切れ目のない適切な引継ぎの促進 ●特別支援教育研修の実施による専門性の向上 ●医療的ケアを必要とする児童生徒の支援の実施(23名)と支援体制の充実 ●長期入院・入所児童生徒への学習支援の実施 ●小・中・高等学校への特別支援教育サポーターの配置(21,092回) ●児童生徒の実態に応じた交流及び共同学習の実施 ●一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な就学相談の実施 	490,295	489,713	3	P36
19	20202030	共生・共育推進事業	その他	豊かな人間関係を育む「かわさき共生*共育プログラム」を実践し、いじめ・不登校の未然防止等を図ります。また、プログラムの「効果測定」の活用により、児童生徒指導の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●年間2回の共生・共育担当者研修会(4月、8月)の実施 ●研究協力校を含む要請校内研修等の実施(延べ17回)と、協力校情報交換会の開催による学校の取組支援 ●新型コロナウイルス感染症に伴う心のケアに向けた新エクササイズの開発と紹介 	4,700	4,271	3	P39

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
20	20202040	児童生徒支援・相談事業	その他	不登校やいじめの問題への対応とともに、子どもたちの豊かな心を育むため、児童支援コーディネーターやスクールカウンセラー等の配置・活用を図ります。また、スクールソーシャルワーカーを各区に配置し、関係機関との連携により児童生徒の抱える課題の解決を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市立全小学校で専任化した児童支援コーディネーターのスキルアップに向けた研修の実施(オンラインや資料配布を含み新任研修10回、全員研修1回、特別支援教育コーディネーター連絡会議4回、児童生徒指導連絡会議7回) ●スクールカウンセラー・学校巡回カウンセラーの派遣による専門性を生かした教育相談活動 ●スクールソーシャルワーカーの派遣による、関係部署や関係機関と連携した適切な支援 ●多様な相談機能による相談支援の実施 	529,166	526,663	3	P41
21	20202050	教育機会確保推進事業	その他	不登校の児童生徒の居場所として適応指導教室「ゆうゆう広場」を運営し、きめ細やかな相談活動を通して、状況の改善を図り、学校への復帰や社会的自立につなげるとともに、中学校夜間学級の運営を行うなど、教育の機会確保を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立に向けた支援のための居場所としての適応指導教室の運営(登録者数:188名) ●子どもたちの目線により近い支援・相談のためのメンタルフレンドの募集・配置と子どもたちの活動支援(延べ20名) ●西中原中学校夜間学級の運営及び希望者に対する入学・編入相談の充実 	75,979	74,029	3	P43
22	20202060	海外帰国・外国人児童生徒相談事業	その他	学校と関係機関が連携して、日本語でのコミュニケーションに不安がある児童生徒等の相談・就学体制づくりを進めます。また、日本語指導等協力者(学習支援員)を派遣するとともに、特別の教育課程による日本語指導体制づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●各区教育担当や教育政策室、学校で教育相談を行い、日本語指導初期支援員を配置(新規配置168人分) ●国際教室担当者連絡協議会の実施(2回)及び日本語指導非常勤講師研修の実施(3回) ●国際教室担当者及び非常勤講師の巡回により、日本語指導が必要な児童生徒がいる全ての学校で、特別の教育課程による日本語指導を実施 ●希望する学校等に通訳機器を配置(136台) ●学校等へ通訳者の派遣等の支援(39件) ●プレスクールを全区で開催(39組参加) 	95,900	92,796	3	P45
23	20202070	就学等支援事業	その他	就学援助費や特別支援教育就学奨励費、高等学校奨学金など、経済的支援を行うとともに、法令等に基づき、就学事務を適正に執行します。	<ul style="list-style-type: none"> ●就学援助については、経済的に困窮している保護者に対して必要な援助を実施 ●奨学金については、修学困難な生徒に対する経済的支援を実施 ●就学事務システムを活用し、就学事務を円滑に実施 	1,316,639	1,165,546	3	P47
24	20203010	学校安全推進事業	その他	登下校時の交通事故等、地域におけるさまざまな危険から子どもたちを守る取組を推進します。また、学校防災教育研究推進校による研究の推進等、各学校の防災力の向上を図るとともに、子どもたちの防災意識を高めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校を巡回し、通学路の危険か所のチェックや防犯対策を行うスクールガード・リーダーの配置拡充(計画20名に対して実績25名) ●踏切等の危険か所への地域交通安全委員の適正な配置 ●通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険か所の改善の推進 ●学校防災教育研究推進校(計画4校に対して実績7校)による先導的な研究の推進や、各学校の実態に応じた防災教育の推進 	104,953	93,843	2	P49
25	20203020	学校施設長期保全計画推進事業	施設の管理・運営	既存学校施設の改修等の再生整備手法により、より多くの学校の教育環境改善を図るとともに、老朽化対策、質的改善、環境対策による長寿命化を推進します。また、計画的に予防保全を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校施設の長寿命化・再生整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・校舎の工事(14校) ・体育館の工事(4校) 	1,858,405	8,659,326	3	P51
26	20203030	学校施設環境改善事業	施設の管理・運営	教育環境の向上をめざし、トイレの快適化やバリアフリー化、エコスクール化を進めます。また、地域の防災力の向上に向け、非構造部材の耐震化など、学校施設の防災機能の強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校トイレの環境整備の推進(計画88校に対して99校完了) ●既存校のエレベータ設置の推進(計画145校に対して実績158校完了) ●非常用電源としての蓄電池の整備(計画58校に対して実績66校完了) ●防犯カメラ設置の推進(R2新規により全小学校完了) (※R2補正予算:スポットクーラーや大型冷風扇を設置) 	1,676,479	4,972,643	2	P53

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
27	20203040	学校施設維持管理事業	施設の管理・運営	学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などを計画的に実施します。	●学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などの実施	3,669,067	3,576,683	3	P55
28	20203050	児童生徒増加対策事業	施設の管理・運営	児童生徒の増加に的確に対応するため、各学校の児童生徒数の将来推計値に基づき、教室の転用、校舎の増改築、新校設置、通学区域の見直し等の適切な対応を図り、良好な教育環境の維持に努めます。	●住宅開発・人口動態を捉えた児童生徒数及び学級数の推計の実施 ●児童生徒数の動向等に応じた地域ごとの対応の検討 ●新川崎地区新設小学校開校に向けた土地の取得、基本構想・基本計画の見直しの実施 ●校舎増築工事(工事着手:高津小・柿生小・東小倉小、工事完成:東住吉小)	4,205,268	11,060,204	3	P57
29	20204010	地域等による学校運営への参加促進事業	その他	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の取組成果を他の学校に波及させるとともに、学校教育推進会議の充実を図ることなどにより、学校・家庭・地域社会が連携して、よりよい教育の実現をめざす。	●学校運営協議会(21校)や学校教育推進会議(157校)の実施 ●学校運営協議会の運営支援の継続及び5つの中学校区学校運営協議会の連携・協働体制の仕組みづくりのモデル検証の実施 ●コミュニティ・スクール連絡会やコミュニティ・スクール・フォーラム(書面開催)等による実践成果の普及・啓発	3,536	1,607	3	P59
30	20204020	区における教育支援推進事業	その他	各区に配置した区・教育担当を中心に、区役所と連携しながら、学校と地域との連携強化や学校へのきめ細やかな支援を推進します。	●区におけるきめ細やかな学校運営全般に対する支援 ●衛生課や地域支援支援課等の地域みまもり支援センターとの連携、学校間及び学校と地域の連携体制の充実 ●各区の「要保護児童対策地域協議会実務者会議」での情報共有など、地域諸団体・機関との連携強化による子ども支援 ●「学校支援センター」による 学校支援活動は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため減少(派遣数目標5,000人に対して実績53人)	5,370	4,444	4	P61
31	20204030	地域に開かれた特色ある学校づくり推進事業	その他	地域人材の活用を図るとともに、学校の自主性・自律性を高めるなど、特色ある学校づくりを進めます。また、学校の取組を自主的・自律的に改善するためのしくみとして学校評価を推進します。	●各学校が実施計画に基づき地域資源を活かした体験活動や教育活動を行う「夢教育21推進事業」の実施(全校) ●各学校が、自らの教育活動等について、めざすべき目標を設定し、その達成状況や取組等について評価することにより、学校の組織的・継続的な改善を図る、学校評価の実施(全校) ●学校教育ボランティア配置による学校活動の支援(135校)	149,131	115,454	3	P63
32	20204040	教職員研修事業	その他	子どもたちと共に学び続ける教員であるために、ライフステージに応じた教職員研修を推進します。特に、学校全体の教育力向上をめざして、若手教員の資質向上とミドルリーダーの育成充実を図ります。	●教員育成指標に基づく研修を計画。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で従来通りの 集合型研修を実施することができない状況 もあったが、教職員の学びを止めないようICTを活用したオンライン研修を取り入れることや、資料送付で研修を実施。必修研修としてライフステージに応じた研修を13講座79回、その他の必修研修を19講座50回、希望研修11講座15回(資料送付を含む)実施。 ● かわさき教師塾「輝け☆明日の先生」 を新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から 縮小し 講話講義等を3回、演習等を1回の 計4回実施(計画10回) 。また、2月に川崎市教員育成指標に関する資料を受講生に配布。川崎市が求める教師像を周知。	23,603	13,805	4	P65

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
33	20204060	教職員の選考・人事業務	その他	施策推進に資する定数算定を行うとともに、教職員採用についての改善等による創意と活力にあふれた優秀な人材を確保します。また、学校の適正な運営の確保及び教育力の強化に向けた教職員配置を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●指導方法工夫改善対応教員の一部を専科指導担当教員へ振り替える等効果的な教職員配置の実施 ●新型コロナウイルスまん延防止対応のため中止した地方会場の採用説明会に替えて、デジタルコンテンツの公開やSNSを活用した情報発信等新たな取組の実施 ●大学推薦、教職経験・TOEIC等の資格を考慮した特別選考に加え、新たに複数免許状取得者への加点制度導入したほか、面接選考において人物重視の採用選考の実施 ●少人数指導等に対応した非常勤講師の配置等適切な教職員配置の実施 	1,118,733	1,041,824	3	P67
34	20204070	学校業務マネジメント支援事業	その他	学校の教育力を高めるため、諸経費の適切な予算措置や教材の整備等の学校運営支援を行うとともに、教職員の働き方・仕事の進め方改革の方針に基づき、業務の効率化に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●効率的・効果的な学校運営体制のモデル校4校の業務改善事例集発行及び業務改善支援推進校3校における業務改善活動の実施 ●教職員事務支援員又は障害者就業員の全小中学校配置による負担軽減の実施(166校) ●部活動指導員の配置拡充による負担軽減の実施(22校) ●学校法律相談の実施 ●各校の実情に応じた予算調整制度の運用及び理科教育に関わる備品整備(42校) 	4,339,026	3,839,724	3	P69
35	20204090	教育研究団体補助事業	補助・助成金	各校種における校長会、教頭会、各教科研究会等が所属する全国、関東甲信越地区、県等の上部団体への会費や負担金等を補助することで、各会の情報収集、情報交換、研究の推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●各種団体に負担金等を補助し、活動を支援することで、本市の教育行政を進める上で必要な上部団体との交流を通じて、常に最新の情報収集、情報交換、研究の推進を図ることができました。 	8,773	7,187	3	P71
36	20301010	家庭教育支援事業	参加・協働の場	子育て期の市民を地域全体で支え合う家庭教育環境を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> ●PTAによる家庭教育学級開催の支援(開催数目標163校に対して実績54校) ●全市・各区「家庭教育推進連絡会」の開催による情報共有の推進 ●企業等と連携した事業実施(2回)及び福祉部門と連携した情報提供など家庭教育支援の推進 	2,438	523	4	P73
37	20301020	地域における教育活動の推進事業	参加・協働の場	地域社会でいきいきと活動する市民や、子どもたちの成長を見守り支えている市民の意欲・力を、社会全体の活力や地域の教育力の向上につなげられるよう支援します。また、「川崎市子どもの権利に関する条例」に基づき、地域における子どもの育ちや意見表明を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●情報共有の推進や担い手育成等、各行政区・各中学校区地域教育会議の活性化に向けた支援 ●市子ども会議の開催と各行政区・各中学校区子ども会議との連携 ●地域のスイミングスクール等と連携した、子どもの泳力向上プロジェクトの実施(参加者数:1,764人) 	29,989	19,019	3	P75
38	20301030	地域の寺子屋事業	参加・協働の場	地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めることを目的に、地域が主体となって子どもたちに放課後週1回の学習支援と、土曜日等に月1回の体験活動を行う「地域の寺子屋事業」を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域や学校の状況を踏まえた地域の寺子屋事業の推進(H30目標70カ所を下回る65カ所) ●養成講座等による、地域の寺子屋の運営に関わる人材(寺子屋先生・寺子屋コーディネーター)の確保(目標2,000人に対して実績938人) ●地域の寺子屋推進フォーラムの開催による普及・啓発 ●外国につながる児童を対象とした寺子屋分教室の実施(4カ所) 	89,636	50,933	4	P77
39	20302010	社会教育振興事業	参加・協働の場	教育文化会館・市民館・分館において、市民の学習や活動の支援、社会教育を担う団体やボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどを行うとともに、学習の成果や地域の人材資源の活用を図り、市民の力による地域の教育力とまちづくり力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てや、平和・人権・男女平等など、市民館における社会教育事業の実施(目標300事業に対して実績208) ●市民が学びにより得た知識や経験を身近な地域で活かす市民講師の養成講座の実施及び活用 ●市民提案・協働による課題解決型事業の推進、地域の生涯学習をコーディネートする人材の育成 	46,477	43,545	4	P79
40	20302020	図書館運営事業	施設の管理・運営	市民の読書要求に応え、市民の課題解決に役立つために、多様な図書館資料を収集・提供するとともに、レファレンスの向上、インターネットやICTの活用、関係機関や学校図書館との連携促進などを図りながら、効率的・効果的な図書館運営をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な市民ニーズに応えるための資料の充実・タイトル数の確保(88万タイトル) ●ICT機器を活用した効率的な図書館の運営及び維持管理 ●図書館総合システムの円滑な運用及び次期システムの検討 ●来館困難者や高齢者、障害者等への支援などサービスの実施 	747,880	729,136	3	P81

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
41	20302030	生涯学習施設の環境整備事業	施設 の 管理・運 営	市民の生涯学習や地域活動の拠点として、身近な学校施設を有効活用するとともに、社会教育施設等の環境整備を図るなど、市民の生涯学習環境の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●校庭145校、体育館167校、特別教室136校における学校施設の開放及び更なる活用を図るモデル事業の実施・検証 ●宮前市民館・図書館の鷺沼駅周辺への移転・整備に向けて「新しい宮前市民館・図書館基本計画」を策定 ●川崎市教育文化会館及び川崎市立労働会館の再編整備に向けて、「川崎市立労働会館及び川崎市教育文化会館再編整備基本計画」を策定 ●社会状況の変化や多様な市民ニーズに対応するため、「今後の市民館・図書館のあり方」を策定 	383,907	310,177	3	P83
42	20302040	社会教育関係団体等への支援・連携事業	その他	生涯学習団体や主体的に活動する社会教育関係団体に対し、その活動や市民との協働によるまちづくりに資する事業等について、補助金の交付や協働での事業実施、求めに応じた助言等を行うことで、支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習財団に対して補助金の交付や助言等を行い、財団による生涯学習活動の支援、多様な主体と連携などを促進 ●川崎市PTA連絡協議会等に対して補助金の交付や助言等を行い、児童・生徒の健全な育成とPTAの生涯学習活動の充実に寄与 ●川崎市地域女性連絡協議会に対し、補助金の交付や助言等を行い、平和・人権や男女共同参画等に関する学習・実践及び情報交換などの地域活動を充実 (財団補助事業参加者数の目標12,700人に対して実績3,539人) 	142,842	141,302	4	P85
43	40802020	文化財保護・活用事業	その他	市民の郷土に対する認識を深め、地域の人々の心のよりどころとなるよう、歴史の営みの中で、自然環境や社会・生活を反映しながら、育まれ、継承されてきた文化財の適切な保存と活用を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●「川崎市文化財保護活用計画」に基づき平成29年度に創設した「川崎市地域文化財顕彰制度」において、市域から幅広く地域文化財候補を募集し、第3回川崎市地域文化財28件を決定(総計159件) ●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化財ボランティアの参加する事業についての中止。一方で指定文化財等現地特別公開などの活用事業については、令和3年2月に「故郷に帰った半鐘展」を実施 	93,287	111,132	4	P87
44	40802070	橋樹官衙遺跡群保存整備・活用事業	その他	古代川崎の歴史的な文化遺産を後世まで継承するため、市内で初めて国史跡に指定された「橋樹官衙(たちばなかんが)遺跡群」(橋樹郡家跡と影向寺遺跡)の保存・活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●「国史跡橋樹官衙遺跡群保存活用計画」に基づく保存管理・活用の実施について、有識者会議4回を実施 ●史跡めぐり・発掘調査現地見学会・講座(参加者数目標250人に対して実績374人)、市民講座等への講師派遣(4回)の実施 	59,165	102,206	2	P89
45	40802100	日本民家園管理運営事業	施設 の 管理・運 営	国・県・市の指定文化財25件を有する日本有数の古民家の野外登録博物館として、その貴重な文化財を適切に保存・活用し、市民の文化・学術・教育の向上を図るため、「日本民家園」を運営します。	<ul style="list-style-type: none"> ●江戸時代の古民家の野外展示(年間来園者数:計画136,000人のところ実績68,267人) ●伝統的生活文化に関する企画展示(2回)、各種講座等教育普及事業の実施(61回) ●新型コロナウイルス感染症拡大を受け、非来園型サービスとして昔話の語りや芸能公演の動画配信 	330,341	277,520	4	P91
46	40802110	青少年科学館管理運営事業	施設 の 管理・運 営	自然・天文・科学の3つの柱を中心に、市民の科学知識の普及啓発や科学教育の振興のため、市唯一の自然・科学系登録博物館として、「青少年科学館」(かわさき宙と緑の科学館)を運営します。	<ul style="list-style-type: none"> ●自然・天文・科学の3分野の実物・標本・模型などの資料展示(年間来館者数:計画288,000人のところコロナ禍の影響により実績178,245人) ●自然観察教室や科学実験教室などの教育普及事業の実施(参加者数目標40,000人に対して実績7,816人) ●プラネタリウムを活用した天文知識の普及啓発の実施 ●「七夕」などの日本民家園との連携事業、生田緑地内の博物館や美術館と連携した広報の実施 ●開館50周年記念(令和3年度)に向けたプラネタリウムフュージョン新番組等の制作 	128,663	122,967	4	P93